

Brief Letter

ブリーフレター

48

June 2011

新任スタッフ紹介

ヘリコバクター ピロリ菌について

検査室長 臨床検査技師 本田 寛子

自然放射線と人工放射線

放射線課長 診療放射線技師 松崎 知恵

千一夜医話

東日本 大震災に 思うこと

スタッフの横顔

ソーシャルワーカー 日々雑感

企画室長 内田 浩稔
(医療ソーシャルワーカー)

特集

がん診療の「予防から看取りまで」

(1)ある中年医師の独り言 緩和ケアセンター長 医学博士 末満 隆一



医療法人 AGIH 秋本病院

本誌は、秋本病院と患者さん、そして地域をつなぐコミュニケーション誌です。

がん診療の(1)ある中年医師の独り言 「予防から看取りまで」



生物はこの世に命を授かった時点から個体死という運命をもつ。生物を形作る細胞自身にも寿命がある。正常細胞は繰り返し分裂を続けた後、ある時点でそれ以上に分裂ができなくなり、老化がおこる。しかし、癌細胞は環境が整えば永遠に分裂を続けることができる。癌細胞には遺伝情報の担い手である染色体を安定させるテロメラーゼという酵素が常に働いており、それにより永遠の命が授けられている。約60年前のヒトの癌細胞(子宮頸癌)が特殊な溶液の中で今でも生き続け、癌の研究に使用されている。癌細胞：恐るべし、である。この癌細胞についてつづきたい。

●癌の原因と予防

医療技術の向上により、癌は遺伝子の病気であることが判明された。発癌の背景には遺伝的要因と環境的要因があり、その組み合わせの結果、様々な遺伝子の異常が蓄積する事で段階的に癌が発生する。

・**遺伝的要因**：元々癌に成りやすい遺伝的な素因をもっている人や偶然に突然変異を起こして生じるものがある。
・**環境的要因**：今、災害でも問題となっている放射線暴露だけでなく、

紫外線や食事(特に飲酒)、肝炎ウイルスなどのウイルス、ヘリコバクターピロリなどの細菌、そして最も問題と思われるものに喫煙がある。

私はこれまで肺癌を専門(注釈1)とし、その診療に十数年かかわってきた。肺癌と言えば喫煙と密接な関係がある。特にここ数年、喫煙には大きな問題があると実感し、学会および医学雑誌にて、その問題に携わってきた(注釈2)。日本人の死亡の第1位は悪性新生物、第2位

は心疾患、第3位は脳血管疾患であり、これらすべて喫煙が関与している。たばこ煙の中にある発がん物質は約60-70種類もあり、特に副流煙に多く含まれる。それによる喫煙の問題として受動喫煙が挙げられる。例えば、重喫煙者の夫と生活する非喫煙者の妻が肺癌を発病するリスクは正常に比べ約2倍に増すことが報告されている。また、喫煙が危険因子と判明している癌種は数多く分かっており、肺癌を始め、鼻腔・副鼻腔がん、口腔がん、咽頭・喉頭がん、食道・胃・大腸癌、肝癌、

脾癌、腎・腎盂・膀胱癌、子宮頸部癌、急性骨髄性白血病など数多く存在する。恐るべし、タバコ、である。最近、分煙の動きが出ているが、完全分煙でなければ全く意味がないこともご理解頂きたい。例えば、かわい子供のために別の部屋で喫煙する・喫煙後に換気する・空気清浄機を置くなどといった行為では全く分煙の意味がない事が2003年の報告にある(注釈3)。特に空気清浄器はタバコ煙の毒物をまき散らす最強の道具である。癌の予防として禁煙は最も大切な事と断言する。

その他の事に関しては話せば長くなるので簡単にコメントする。タバコと同様に、多量飲酒・運動不足・肥満を解消することも癌予防には重要である。感染症に関しては、発癌に関係する有名な感染症の二つに肝癌の原因である肝炎ウイルスがある。現在では、この肝炎ウイルスの



緩和ケアセンター長 医学博士
末満 隆一



感染リスクは感染スクリーニング検査の導入で明らかに減少した。ウイルスと同様に細菌にも発癌を引き起こす菌がある。たとえば、胃癌の原因であるピロリ菌が有名である。日本人はピロリ菌の感染率が高く、特に潰瘍を起こしやすい方は感染の有無を確認し、除菌することが望ましい。最近の話題としては、子宮頸癌の原因でもあるヒトパピローマウイルスの予防接種がある。パピローマなどSTD（注釈4）も大きな問題となっていることも悩ましく感じる。当院では禁酒外来はないが、禁煙外来、ピロリ菌に対する除菌、パピローマなどの予防接種を行っているので、興味のある方は当院にどうぞお問い合わせを。

●癌の特徴と診断

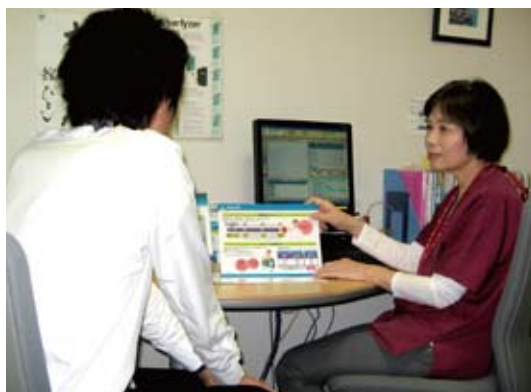
人の身体は約60兆個の細胞から成り立つと言われている。遺伝子異常などで生じた変異細胞は人の免疫細胞などで認識され、取り除か

れる。しかし、そのような関門を抜けた1個の癌細胞は1個から2個、2個から4個へと増加していく。30回の分裂を続けて癌が診断される約1cm（約1グラム）のサイズになると言われている。理論的に、このサイズになるまでに、癌細胞は 10^9 個（10億個）まで増加し、それまでに約5～8年かかるとされる。その後も治療が施されなければ細胞の数は増加していき、その1千倍である 10^{12} 個（1兆個、約1キログラム）になれば人は死という道を歩んで行く。癌細胞が 10^9 個に成長するまでにはかなりの時間を要するが、 10^9 個から 10^{12} 個になるまでにはそこまで時間は要しないと言われる。

現時点では、早期に診断すれば根治の可能性は高い。しかし、発見までに 10^9 個（10億個）も体内の中にあるのであれば、やはり転移している可能性は否定できなくなる。一般的にがんは、前癌病変→癌→転移・再発の経過をたどる。如何に前癌病変で発見されるか、あるいは本当の早期癌で発見されるかで大きくその後の経過が変わるであろう。ここまで書く不安に思う人も出てくるかもしれない。 10^9 個の癌細胞、重さでは約1グラムという数字は治療の可能性のある数字でもある。

1グラムまでの癌細胞の重量であれば体中の免疫細胞が根治に導くことができる、と考えられている。手術不可能な患者に手術を行って癌細胞を減らしたのちに抗がん剤を用いて治療することで治療に至る症例も存在する。

癌の診断技術は近年見る見る向上したが、やはり100%の診断は困難であり、早期での発見にもなるとなおさらである。検診ですべてが診断されるというわけではない。やはり自覚症状で医療機関を受診され発見される場合が多い。画像診断としてCT、MRI、超音波検査、PETなど1～数種類を組み合わせて行われる。CTやMRIの診断率は腫瘍の大きさにもよるが5～9割程度である。PETは9割以上の報告がされているが、前癌病変



秋本千賀子医師による禁煙外来

を含めて小さい腫瘍の検出は苦手なようである。癌の確定診断は直接腫瘍から細胞を採取して行われるが、その代表的な検査として内視鏡検査がある。胃カメラや大腸カメラにて確定診断を得ることは多い。当院では胃カメラ年間1100例、大腸カメラ280例行っている。当院では内視鏡検査を検診・精密検査を含めて行っているので必要時は利用して頂きたい。

次回は、癌の治療・緩和ケアに関して簡単に触れ、そして当院の緩和ケアセンターの紹介をしたい。

（注釈1）私を呼吸器外科への道へ歩ませたのは現九州がんセンター呼吸器部長である杉尾賢二医師であり、肺癌の基礎を指導して頂いたのは現九州がんセンター副院長である一瀬幸人医師であった。そして、呼吸器外科医として独り立ちさせて頂いたのは現九州医療センター呼吸器センター長である竹尾貞徳医師である。今ここに癌と戦う人々と共に何がベストであるのか、冷静に思考・指示する力を養って頂いたこれらの医師たち、及びこのような教育の場を与えて頂いた九州大学大学院 消化器・総合外科学教室 前原喜彦教授に感謝の意を表したいと思います。

（注釈2）「喫煙者肺癌患者の周術期合併症の検討」第4回禁煙学会総会（2009年9月）にて発表及び日本禁煙学会雑誌第5巻第2号（2010年4月）に投稿。

（注釈3）Blackburn C, et al: Effect of strategies to reduce of infants to environmental tobacco smoke in the house: cross sectional survey. BMJ 327,257,2003.

（注釈4）STD (Sexually Transmitted Diseases); 性感染症

新任スタッフ紹介

2011年春から、新しく6名のスタッフが入職いたしました。
新しい力も加わって、より一層充実した医療サービスを
皆さまにお届けします。



一般病棟 看護師

吉田 真知子

(よしだ まちこ)

はじめまして。吉田真知子と申します。1月から勤務しています。出身は長崎出身で、4年前に福岡に来ました。

外科病棟で働くのは初めてで、不安で一杯ですが、早く業務に慣れよりよい看護ができればと思っています。よろしくお願いします。



緩和ケアセンター 看護師

畑島 千恵

(はたしま ちえ)

1月21日より緩和ケアセンターに勤務させていただいています。生まれて数十年、ずっと福岡在住です。

方向音痴なので、入職当初は病院の中で何度も迷子になりかけましたが、やっと目的地にたどり着けるようになりました。笑顔で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



緩和ケアセンター 看護師

平野 未穂

(ひらの みほ)

3月から緩和病棟で勤務しています。平野と申します。以前は在宅で3年半ほど働いておりました。

緩和病棟は初めての経験ばかりで戸惑うことも多いですが、少しでも患者様や家族の支えになれるよう努めています。よろしくお願いします。



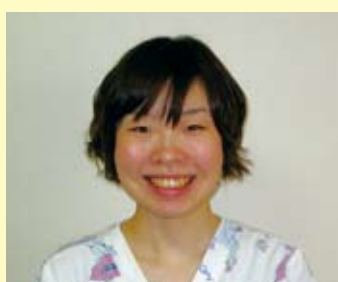
緩和ケアセンター 看護師

岩本 美紗

(いわもと みさ)

4月から、念願の緩和ケア病棟で毎日楽しくお仕事させていただいています。私は体を動かすことが好きで、今も時間を見つけてはソフトバレーボールをしています。

昨年は「もっと広い視野を持ちたい」との思いから、ボランティアでインドのマザーテレサの施設で働いてきました。日本の医療のレベルの高さと質の良さを実感しました。患者様、ご家族の方へ、心のこもったケアを行っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



緩和ケアセンター 看護師

園田 奈津子

(そのだ なつこ)

はじめまして園田奈津子と申します。4月から5F緩和ケアセンターで勤務しています。緩和ケアを担当するのは初めてなので不安と緊張でいっぱいですが、早く病棟の雰囲気慣れて患者さんに手厚い看護ができるよう頑張ります。

趣味は旅行と読書と映画鑑賞です。京都が大好きで、お寺や京都の街を散策したり、京都ならではの和雑貨や美味しいお菓子を探して楽しんでいます。環境も変わり新たな気持ちで頑張りますので、よろしくお願いします。



総務課

井上 和代

(いのうえ かずよ)

3月22日から総務課で医療事務を担当しています。まだまだ覚えることも多く、周りの皆さんに助けていただきながら日々頑張っています。

趣味はアロマセラピーと登山(散策?)です。自然にふれることで自分をリセットしています。元気に生活できることに感謝です。早く仕事を覚えてもっと笑顔でいられるように、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



ヘリコバクターピロリ菌について



検査室長 臨床検査技師
本田 寛子

認められています。

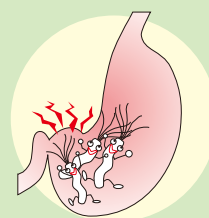
ピロリ菌はグラム陰性のらせん状桿菌で両端に4～8本の鞭毛を持ち、回転しながら活発に動き、胃粘膜を覆っている粘液層の中に潜り込み、粘膜の表面にくっついたり、

1983年にR.ウォーレンとB.マーシャルによってヘリコバクターピロリ菌(以下、ピロリ菌)が人の胃粘膜から初めて分離・培養され、その後、慢性活動性胃炎を引き起こすことが明らかになりました。実際には、全ての胃潰瘍や十二指腸潰瘍の約80%にピロリ菌の感染が

細胞間内に入り込み増殖しています。そして動物の胃内だけで増殖可能なため、それ以外では長時間生息することはできません。

では、胃酸のため強酸性の環境の下でピロリ菌はどのようにして生存しているのでしょうか？これは、ピロリ菌自体が持つウレアーゼという酵素が胃内の尿素を分解してアンモニアを作ることにより、アルカリ性であるアンモニアでその酸を中和して胃の中で生存することができるのです。現在、ピロリ菌感染の有無を見る検査も数種類にもなり、行われている検査は施設によって違います。

今回は当院で行っている検査のそれぞれの特徴などを紹介します。



自然放射線と人工放射線



放射線課長 診療放射線技師
松崎 知恵

品照射などにも利用されています。またこれら放射線による我々の身体への影響は年齢、臓器、組織などが受けた量によって異なります。

放射線が当たると、細胞のDNAが傷つきます。わずかな傷は回復能力により簡単に修復されます。回復能力を超える傷を受けた場合には、異常な遺伝子を残さないために、細胞は自ら死滅(アポトーシス＝細胞死)します。

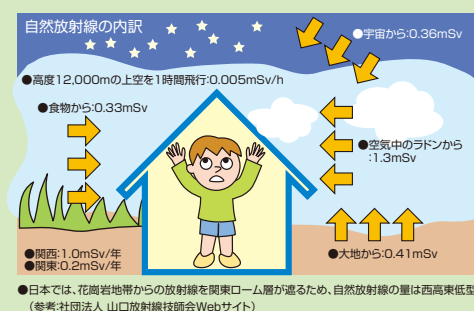
しかし、アポトーシスに至らない程度の放射線を一度に多量に受けると、修復が間に合わなくなり障害(放射線障害)が現れます。放射線障害は身体に受けた場所(部位)や量により異なります。

地球上で生活をしている我々が受けている自然放射線(宇宙線、大地、空気中、食物などから)は世界平均

放射線には、元々自然界に存在しているものと、人工的に作り出したものがあり、これらの性質はどちらも同じです。

一方、人工放射線は、レントゲン検査やコンピューター断層検査(CTスキャン)、癌の治療、核医学検査、PET検査などに利用されたり、殺菌などの食

2.4mSv/年です。また、世界の中で一番多い国では8～15mSv/年と、かなりの自然放射線を受けている地域もありますが、疫学的調査によると癌や白血病になる人の割合はほとんど変わりません。



近年の放射線医療は目覚しく、人工的に作り出した放射線による診療は病気の診断、治療にとって大きな利益をもたらします。検査の種類、検査する部位により被ばく量は違いますが、リスクを最小にかつ安全に検査ができるよう、当院では1検査ごとのおおよその被ばく線量を推定したり、医療法施行規則(平成13年3.12改定)・電離放射線障害防止規則(平成13年3.12改定)の法令に基づき、放射線管理区域内で人が常時立ち入る場所、管理区域の境界、事業所の境界にて、放射線の漏洩線量測定を6ヶ月を超えないごとに1回測定しています。

千一夜医話

東日本大震災に思うこと

3月11日の東北地方太平洋沖大地震は、マグニチュード9.0という未曾有の大地震であっただけでなく、引き続き起こった大津波そしてさらに原発事故と想像を絶する被害が起きてしまいました。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

この震災での医療に関する支援活動を振り返ってみると、災害発生直後は全国からDMATが出動、あまり報道されませんでしたが検視支援、そして医薬品の緊急供給などが災害直後に行われました。その後は医師会を中心に医療支援チームが被災地に派遣されています。

DMATとは災害派遣チーム(Disaster Medical Assistance Team)の略で、災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームと定義されており、阪神淡路大震災を教訓に「避けられた災害死」を救う目的で作られました。災害での外傷などが落ち着いた後は、慢性疾患のケアが始まりました。被災地の医療機関は当然壊滅的な被害を受け、医療従事者も被災者でした。透析患者を被災地から遠方に搬送しました。現地の医療関係

者の献身的な仕事ぶりは感動し頭が下がるばかりです。その後は避難所での感染対策、精神的ケアなど医療の需要は増すばかりで、全国からいや世界中からさまざまな医療団体の支援チームが現地に赴いています。日本医師会はJMAT(日本医師会災害医療チーム)を組織して被災地の救援を続けています。

さて、我々は平成17年3月20日に福岡県西方沖地震を経験しました。この病院でも地震発生直後から夜までに66名の外傷患者を受け入れるという貴重な経験をしたのを思い出します。今回の震災に比べると、余震レベルの地震でその被害は比較のしやすさがありますが、それでも現場の混乱や、通信や情報の途絶を経験しました。その後、

我々は医師会や救急病院協会などで災害対策を練り直し防災訓練を繰り返しています。しかし、今回の震災のような規模の災害は決して想定していません。福島原発事故で関係者が盛んに「想定外の災害」と言っているのを聞くと、我々の防災対策も見直す必要がありそうです。福岡は地震がないと思っていたらあの地震でしたし、「玄海原発がテロ攻撃を受ける」などというのはありそうで、どこかの国がその気になれば

ば簡単にやれそうです。そんな想定はされているのでしょうか?「災害は忘れたころにやってくる」昔から何度も言われていますが、忘れる前に我々も想定をやりなおし防災対策を練り直す必要があります。

震災発生以来、遠くにいる我々は何ができるかを常に考える日々でした。病院の受付に置いた募金箱には、たくさんの方の義援金や寄せられました。この場を借りてお礼申し上げます。また、看護師1名が病院職員全員の気持ちを背負ってJMATの一員として石巻に赴きました。被災地が少しでも早く復興することをお祈りするとともに、日本中でこの災害を乗り越えなければなりません。



理事長・院長
秋本 亮一
あきもと りょういち



西鉄バス
「薬院二丁目」バス停より徒歩1分

西鉄電車
天神大牟田線「薬院駅」より徒歩10分

地下鉄
七隈線「薬院大通駅」より徒歩5分
空港線「赤坂駅」より徒歩10分

○お車で越しの方へ/外来受診(平日診療時間内)の患者さまに、薬院六つ角「MUTSUOKADO PARKING」の1時間無料駐車券をお渡ししています。ただし、入院のお見舞い時などに無料駐車券はありません。ご了承ください。



スタッフの横顔

皆さんに安心して医療サービスを受けていただけるように、当院ではいろいろなスタッフが表で裏で活躍しています。その横顔(素顔)をちょっとご紹介しましょう。



若々しさの秘密は その名前と切り干し大根!?

背が高く、クールビューティーな印象の不老さんですが、甘え上手な一面もあり患者さんへはいつも笑顔で接しています。病棟では一番年下ながらも、仕事をテキパキこなす頼もしい存在です。

料理上手で、バーニャカウダやフォンダンショコラなんかも手作りするそう。「切り干し大根作らなきゃ…」が口癖になっています。どこかで見かけた時には、声をかけてみては? ステキなレシピが聞けるかも。(紹介者:肉球)

一般病棟看護師
不老 智子
ふろう ともこ



テキパキママの 元気は子どもと患者さんの 笑顔の『ブレンド』!

4階病棟でいつもテキパキと働いている末吉さんは、今年2月に復帰したママさんナース。仕事と子育ての両立で忙しいのですが、可愛い息子のSちゃんからパワーをもらって、職場でもステキな笑顔で患者様に対応しています。

趣味はもちろん、Sちゃんと遊ぶこと。また、食べることも大好きですが、子持ちに見えないスレンダーボディと爽やかさは見習いたいところ。コーヒーも大好き! だそうです。お奨めがあれば、ぜひ教えてあげてください! (紹介者:もちっこ)

一般病棟看護師
末吉 恵
すえよし めぐみ



ソーシャルワーカー 日々雑感



喪失。そして…

企画室長 医療ソーシャルワーカー
社会福祉士 精神保健福祉士
内田 浩稔 うちだ ひろとし

あなたは人生の中で、さまざまな「喪失」を経験してきたのではないのでしょうか。

大切にしていたものが無くなった。いつも一緒に遊んでいた友達が、転校していった。大好きだったあの人が、ある日突然いなくなった。自分をいつも慰めてくれていたペットが死んでしまった。何も見えなくなってしまった、何も聴こえなくなってしまった。かけがえのない、愛する人が死んでしまった…

呆然とし、声も涙も出ず、孤独感や虚無感、自責の念からの罪悪感や、時には死にたい気持ちまでもが襲ってくる。あがいても、もがいても、その闇や霧の中からどうしても抜け出せない。そういう事があったのではないのでしょうか。

長い時を経て、そんな地の底のような、ブラックホールのような

なところからどうにかこうにか抜け出し、立ち上がり、また歩き出す。そして希望という光を見つけて、新たな人生を生きていく。そういう経験が、あなたにもあったのではありませんか。

そんな時あなたは、たった一人で、その闇や霧の中から抜け出せましたか。誰の力も助けも借りず、自分ひとりの力で這い上がることができましたか。あるいはできたかもしれません。しかし、誰かの力を、助けを必要としている人が、もしかするということかもしれません。

どうやって力を貸したらよいのでしょうか。どうやって手を差し伸べればよいのでしょうか。

残念ながら私は正解を知りません。ただ、黙ってそばに寄り添うことしかできないような気もします。いや、それすらできないような気もします。しかし行動しなければ何も始まらないことだけはわかります。

あなたの近くにいるのかもしれませんが、いないのかもしれない。でも、もし苦しんでいる人がいたら、勇気をもって声をかけてみてください。きっとそこから何かが始まります。



Information from AKIMOTO

Medical News

第8回 秋本メディカルセミナー報告 ©2011年4月26日

「iPS細胞と再生医療」



今回のテーマは「iPS細胞と再生医療」。米スタンフォード大にも留学し研究していた大谷医師による、最先端医療の基本情報と可能性、そして支援体制の問題点など、

時折ユーモアも交えての講話でした。当院スタッフ向け研修も兼ねた初めてのスタイルで、参加者の方からはいつも

以上に活発な質疑応答がありました。iPS細胞と再生医療については、ブリーフレターNo.46・47で特集していたので、バックナンバーは受付までお気軽にお申し付けください。

※切り取って身近な場所に保存できます



〒810-0023 福岡市中央区警固1-8-3
TEL:092-771-6361 FAX:092-771-9984
<http://www.akimoto-hospital.jp/>

診療科目：外科(消化器外科)・内科・胃腸科・肛門科・心臓血管外科・整形外科・脳神経外科・放射線科
外来診療受付：平日8:30~12:30/14:00~17:00 土曜/8:30~12:00
休診日：日・祝

SHOP 散策

©ネスト 福岡市中央区薬院2-13-27 www.nestdesign.jp TEL.092-725-5550 営業時間11:00-20:00

北欧家具や雑貨のセレクトショップ

「NEST(ネスト)」

秋本病院前の信号を渡って、地下鉄薬院駅方面に入ったすぐにある「NEST(ネスト)」は、北欧家具や世界中からの雑貨を揃えたセレクトショップです。看板犬のゴールデンレトリバーのアビル君が目印。

ショップマネージャーの中村さんによれば、世界各国から、家具や照明、雑貨、薪ストーブ、床材など、デザインだけではなく機能性・耐久性に優れたものを集めて、ライフスタイルを提案しているそうです。

モザイク状の積み木のようなものは漆喰のブロックで、トイレなどの消臭・除湿用。3週間に1度直射日光に当たると再生するとか。お値段も¥2,000と手頃です。ランチョンマットやキッズ用の長縄跳び、ロイヤルコペンハーゲンのイヤーズマグカップなど、ギフトにも最適なかわいらしくて上質な商品が揃っています。

店内のいろいろな商品を眺めているだけで、時間があっという間に過ぎていきます。オーナー曰く、「隣にワイバーもありますので、お越しください」とのことです。



編集後記

前号においても、戦争のない平和な地球であることを願いました。今回の日本で起きた大災害に対して、世界中からの温かい気持ちを感じずにはいられませんでした。歴史や政治経済を抜きには語れませんが、未来永劫、世界中の国々でこんな素敵な関係が続けば、地球上から戦争なんてなくなるのに…と、また願うのでした。(内田)

秋本病院 ブリーフレター No.48 2011年6月発行 発行者/秋本亮一 発行所/医療法人AGIH 秋本病院
Copyright 2009-2011 Akimoto Hospital All rights reserved.

